

西宮市立郷土資料館報

平成 28 年度 (2016)

目 次

I	西宮市立郷土資料館の運営●	p. 1
	1 常設展示○	p. 1
	2 特別展示○	p. 6
	3 特集展示○	p. 7
	4 今月のアラカルト○	p. 8
	5 指定文化財公開○	p. 8
	6 教育普及○	p. 9
	7 共催・後援事業○	p. 12
8	資料の収集・保存・調査・研究○	p. 15
	9 文化財調査ボランティア○	p. 17
II	郷土資料館分館名塩和紙学習館の運営●	p. 19
	1 平成 28 年度利用状況○	p. 19
	2 教育普及○	p. 22
III	西宮市立郷土資料館条例および施行規則●	p. 23

I 西宮市立郷土資料館の運営

1. 常設展示（平成29年3月31日現在）

西宮の歴史をテーマに郷土のあゆみを実物資料・模型・ジオラマ・パネルなどによって視覚的・立体的に構成し、郷土の歴史・文化に関する知識と理解を深めることができるように展示した。

常設展示資料数：413点（実物 231点／複製 9点／模型 4点／ジオラマ 1点／パネル 83点／子ども向けパネル 15点／図7点／写真 59点／年表 4点）

(1) テーマ 西宮の歴史 西宮の歴史を概観し、その発展の過程を理解する。

(2) 展示

i わたくしたちのまち にしのみや

現在の西宮を代表する景観を写真で紹介する。

<パネル>甲山（名勝地）／甲陽園目神山地区／教行寺太鼓楼／蓬莱峡（名勝地）／名次山（名勝地）／武田尾温泉（名勝地）／生瀬地区のだんじり／武庫大橋／西宮神社苑池（名勝地）／徳川大坂城東六甲採石場／漢織呉織伝承地（名勝地）／宮水地帯／御前浜（名勝地）／常夜灯型道標と西国街道／甲山八十八ヶ所

ii 西宮の地形

市域の地勢を地形模型で紹介する。

<模型>1万分の1地形模型

iii 西宮の文化財

市内の国・県・市指定文化財を写真で紹介する。

<パネル>神戸女学院／西宮神社嘉永橋／西宮神社瑞寶橋／西宮砲台／老松古墳／高畑町遺跡出土木製品／桜戸雑話／昌林寺阿弥陀像・観音像・勢至像／考古小録／西宮市の文化財一覧／慶長十年撰津国絵図／海清寺三門／松山大学温山記念会館／旧山本家住宅／クスノキ

自然史

西宮地方の成り立ちを自然史の分野から概観する。

1 西宮の基盤

<実物>神戸層群の珪化木／有馬層群・流紋岩／甲山安山岩／六甲カコウ岩／丹波層群

<パネル>広い海の時代／火の海列島時代／甲山の誕生・神戸層群

2 西宮の誕生 I

<実物>神戸層群の植物化石／ラリックス層の植物化石（イラモミ／メタセコイヤ／チョウセンゴヨウ／エゴノキ／シリプトビシ）／アカシゾウの牙／満池谷層の植物遺体包含層剥ぎ取り標本

<パネル>寒冷な時代／温暖な時代／マチカネワニ／アカシゾウ

3 西宮の誕生 II

<実物>沖積層／中位段丘の礫層／高位段丘の赤色泥／アズキ火山灰／大阪層群／丹波層群

<パネル>六甲山地の形成／航空写真／高位段丘／中位段丘／六甲山東麓から尼崎平野断面図

原始

原始・古代の人々の生活を考古資料によって概観する。

<年表>先土器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代

<図>先土器時代地図／縄文時代遺跡分布図／弥生時代遺跡分布図（西撰）／古墳分布図（西撰）

<写真>西宮市苦楽園六番町出土ナイフ形石器／芦屋市岩ヶ平出土ナイフ形石器／宝塚市出土有舌尖頭器／芦屋市朝日ヶ丘遺跡出土石器／大阪市森の宮遺跡貝層／大阪市長原遺跡出土縄文土器／尼崎市田能遺跡出土弥生土器／芦屋市会下山遺跡遠景／西宮市津門出土銅鐸／宝塚市中山出土銅鐸／芦屋市会下山遺跡出土鉄器／宝塚市安倉古墳出土鏡／宝塚市万籟山古墳竪穴式石室／神戸市五色塚古墳／西宮市越水山遺跡竪穴住居跡／西宮市関西学院構内古墳／宝塚市白鳥塚家形石棺／宝塚市中山荘園古墳

4 稲作のはじまり

<実物>仁川高台遺跡出土遺物 6点／甲子園口遺跡出土遺物 3点／越水山遺跡出土遺物 3点

<複製>津門出土の銅鐸／銅戈

<パネル>弥生時代の集落／箕面市如意谷出土銅鐸／弥生時代の水田・石庖丁／青銅器出土地／越水山遺跡の竪穴住居・越水山遺跡の竪穴住居の炉跡／弥生時代竪穴住居内部推定図／銅鐸の鋳造

<こども向けパネル>いしぼうちょう／どうか

5 古墳文化の拡大 I

<実物>具足塚古墳出土遺物 48点

<パネル>具足塚古墳石室／具足塚古墳石室内部／具足塚古墳／関西学院構内古墳／関西学院構内古墳石室実測図／上ヶ原台地北半部の古墳

6 古墳文化の拡大 II

<実物>八十塚古墳群出土遺物 46点

<パネル>八十塚古墳群古墳位置図／八十塚古墳群／老松3号墳石室・苦楽園五番町5号墳石室／古墳から出土する須恵器

<こども向けパネル>みみかざり

古代・中世

社寺の文化遺産と地域との関わりを歴史のながれの中で概観する。

<年表>

<写真>複弁蓮華文軒丸瓦（神呪寺）／木造如意輪観音坐像（神呪寺）／木造不動明王坐像（神呪寺）／淨橋寺梵鐘／善恵上人伝絵（淨橋寺）／虎関師鍊画像（茂松寺）／極楽寺弥陀石仏／淨橋寺石造五輪卒塔婆／淨橋寺石造五輪塔／西宮神社大練塀／公智神社神輿殿

7 神社仏閣が語るもの I

<複製>善恵上人伝絵

<パネル>公智神社神輿殿／西宮神社大練塀

8 神社仏閣が語るもの II

<実物>笠塔婆／石造五輪塔

<複製>弥陀石仏（極楽寺）

<パネル>宝篋印塔（西方寺）／石造五輪塔（淨橋寺）／石造七重塔（鷲林寺）

近世

江戸時代の西宮地方で発達した産業・交通・文化の特質を概観する。

<年表>

<写真>西宮神社表大門／摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図（浄橋寺）／上総九十九里地引網大漁猟正写之図／酒づくり風景（「摂津名所図会」）／耕織図屏風／菱垣新綿番船川口出帆之図／新酒番船入津繁栄図／摂州名塩村の紙漉図（「筑紫紀行」）／西宮宿（「山崎通分間延絵図」）／越木岩神社のおかげ踊り図絵馬（越木岩神社）／今津灯台／摂海に入ったロシア軍艦ジアナ号／豊饒御蔭参之図

9 農・漁業の発達

<実物>上総九十九里地引網大漁猟正写之図／山海名産圖会 3点

<パネル>地曳き網の図

10 西宮・今津の酒造り

<実物>酒造道具の図を集めた本／名酒づくし／新撰銘酒寿語録

<複製>酒株札

<パネル>酒づくり風景（「摂津名所図会」）／酒造史年表／摂泉十二郷の地域図

<こども向けパネル>さけかぶふだ

11 名塩紙

<実物>青箔下間似合／カブタ土／玉子間似合／尼子土／銀箔打原紙／蛇豆土／箔下間似合／東久保土／漉舟株札／藩札 13点

<パネル>名塩の紙ができるまで／雁皮紙（泥土入）電子顕微鏡写真／純雁皮紙（生漉）電子顕微鏡写真／名塩の紙漉場

<ジオラマ>名塩の紙漉場

<こども向けパネル>なじおの土／はんさつ

12 西宮宿

<複製>行程記

<パネル>西宮の町場

<図>西宮宿之図

13 生瀬宿

<複製>摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図

<パネル>摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図解説

<模型>生瀬宿の町並み（30分の1）

<図>生瀬宿之図

14 灘酒の海上輸送と樽廻船

<実物>和磁石 5点／新酒番船入津繁栄図／船鑑札／新酒番船一番の杯／入船祝はっぴ

<複製>新酒番船一番札／鳥羽日和山方角石

<模型>樽廻船（20分の1）／今津灯台（10分の1）

<パネル>常夜灯／近世末期における主要航路図／輸送比較表／樽廻船（弁財船づくり）各部名称図

<こども向けパネル>たるかいせん／わじしゃく／さかづき／はっぴ

民俗

15～17 西宮の米づくりと年中行事

- <実物>くわ/すき/田植え用縄/田植え杵/からすき/田ぐつ/まぐわ/草取り器/がんづめ 2点/鎌 2点/千歯こき/万石通し/ふるい/箕/唐箕
- <パネル>西宮の米づくりと年中行事
- <こども向けパネル>まぐわ/がんづめ/とうみ

近・現代

産業・交通における近代化の状況と明治時代後半期から第2次世界大戦までの学校教育を資料や教科書から概観する。

- <年表>
- <写真>大阪-神戸間の鉄道時刻表・運賃表/武庫郡今津学校/図/旧辰馬喜十郎住宅/旧辰馬喜十郎酒蔵/阪神電車開通の広告/阪急電車の開通 3点/甲東村住宅地の開発/今津発電所/完成間近の阪神甲子園球場/阪急西宮球場の開設/阪神武庫川線の三線軌条式線路/接収中の阪神甲子園球場/第19回全国選抜中等学校野球大会/上ヶ原文教住宅地区/武庫川団地
- <図>市域の拡大

18 近代化へのあゆみ

- <実物>苦楽園のはがき 9点/香櫨園のはがき 7点/甲陽園のはがき 15点
- <パネル>土地開発の進展
- <こども向けパネル>ウォーターシュート

19 教育の普及

- <実物>明治37年から昭和15年までに刊行された国定教科書 18点
- <パネル>明治30年代後半の小学校の様子(写真) 2点/就学児童数の変遷
- <こども向けパネル>きょうかしよ

(3) 平成28年度利用状況

a. 常設展示室入場者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数		26	26	26	17	24	24	26	26	24	23	24	27	293
個人入場者数		2,242	1,937	1,531	1,957	2,643	2,405	2,153	2,403	2,323	4,373	2,158	1,742	27,867
一般 団体	団体数	8	2	4	0	5	3	5	3	0	3	2	1	36
	入場者数	402	30	69	0	87	67	75	67	0	92	125	18	1,032
学 校 団 体	団体数	0	2	1	0	0	0	2	4	3	8	4	1	25
	入場者数	0	55	40	0	0	0	165	259	187	906	283	99	1,994
入場者数合計		2,644	2,022	1,640	1,957	2,730	2,472	2,393	2,729	2,510	5,371	2,566	1,859	30,893

b. 団体利用者一覧

一般団体

番号	月	日	団体名	人数
1	4	5	西宮再発見クラブ	30
2	4	6	大阪市の歩こう会	62
3	4	6	ファインエイジの会	24
4	4	7	西宮市新入職員研修	60
5	4	8	西宮市新入職員研修	59
6	4	8	柏歩会	23
7	4	14	シンボクラブ(向日市)	124
8	4	21	京のまちウォッチング(朝日カルチャーセンター)	20
9	5	22	大阪府木曜会ウォーキングクラブ	22
10	5	27	川西古代史の会OB	8
11	6	1	グンゼスポーツ	16
12	6	8	香櫨園小学校教員研修会	25
13	6	12	H20ひょうごへリテージ機構	25
14	6	22	野村証券西宮支店	3
15	8	7	西宮神社	5
16	8	7	関西不動産情報センター	29
17	8	13	特別展示解説会	30
18	8	16	親と子の郷土史講座	16
19	8	25	教員研修	7
20	9	4	リレーミュージアムバスツアー	42
21	9	10	特集展示解説会	17
22	9	21	シルバーコースト甲子園	8
23	10	5	浜脇デイサービス	7
24	10	8	阪急トラピックス	27
25	10	12	近畿郵政阪神退職共助会ハイキングクラブ	18
26	10	18	社会教育委員視察	12
27	10	26	阪急トラピックス	11
28	11	12	指定文化財公開展示解説会	18
29	11	17	熊野会	10
30	11	26	ツーリズム西宮 楽らく探見隊	39
31	1	12	NPO 法人大阪府北部コミュニティカレッジ「西国街道の史跡を訪ねる科」	59
32	1	26	宮水学園歴史コース	25
33	1	27	ケアウィング六甲	8
34	2	7	パナソニック松愛会枚方北支部・南支部くらわん会	110
35	2	15	悠歩会	15
36	3	15	ならやま会	18
			合計	1,032

学校団体

番号	月	日	団体名	人数
1	5	25	今津中学校中央図書館トライやるウィーク	5
2	5	27	平木中学校1年生	50
3	6	2	鳴尾南中学校1年生	40
4	10	20	今津高校1年生	19
5	10	26	北夙川小学校3年生	146
6	11	2	瓦木小学校3年生	91
7	11	4	夙川小学校3年生	144
8	11	6	神戸松蔭女子大学博物館実習生	4
9	11	17	大手前大学博物館実習生	20
10	12	8	高木小学校3年生	121
11	12	11	甲南大学文学部	7
12	12	18	甲南大学フィールドワーク	59
13	1	17	浜脇小学校3年生	163
14	1	18	深津小学校3年生	68
15	1	18	鳴尾小学校3年生	52
16	1	19	大社小学校3年生	109
17	1	19	今津小学校3年生	89
18	1	20	甲陽園小学校3年生	157
19	1	20	香櫨園小学校3年生	178
20	1	27	高木北小学校3年生	90
21	2	3	甲武中学校1年生	57
22	2	14	香櫨園小学校4年生	68
23	2	16	香櫨園小学校4年生	105
24	2	22	高須小学校3年生	53
25	3	14	浜甲子園中学校1年生	99
			合計	1,994

団体合計：61団体・3,026人

c. その他の利用

資料特別利用数：27件・27人・資料数113点

資料貸出利用数：3件・221日間・資料数10点

(4) 臨時休館期間

期間	目的
平成28年7月5日(火)～7月15日(金)	特別展示開催準備のため
平成28年8月30日(火)～9月2日(金)	特別展示撤収及び常設展示復旧のため

2. 特別展示

第32回 「西宮町人の生活と文化 - 江戸時代の日記を読み解く -」

平成28年7月16日(土)～8月28日(日) 午前10時～午後5時(開館日数：38日)

総観覧者数：4,358人、一日平均観覧者数：115人

展示資料数：57点(西国名所之内 三 西の宮／浜方の瓦／西宮勤番所図(複製)／西宮町浜図／雑事家記／真多家系／撰津国 武庫郡 西宮御社略図／年中御社用日記 元禄7年／御社用日録 元文2年／御社用日録 元文3年／御社用日録 元文4年／御社用日録 宝暦13年／伊勢講のワリコ 13点／伊勢講の旗／西宮町屋敷図／御社用覚日記 正徳4年／年中御社用記 正徳3年／御社用書録 正徳4年／御社用日録 宝暦14年／御社用日記 文化3年／御社用日記 文化2年／数歳萬覚日記帳 明和5年／数歳萬覚日記帳 延享3年／御社用日録 明和2年／御社用日録 安永7年／御神用日記 宝暦9年／屋印暖簾／桜町天皇御冠／辰馬主計像／神宮作法／白川家神職許状／西宮神社金燈籠受領証／西宮神社修復料受領証／横笛／御社用日記 元治2年／家持 借家 月次人別印形帳／諸事書留／旅宿附 日記／慶応元年日記／御触書日記／兵糧米覚／兵糧御米器立白米糠納付帳／桑蓬集／桜戸雑話／扶桑拾遺残葉集)

展示パネル：タイトルパネル 1点／コルトン 15点／コーナー解説パネル 5点／解説パネル 14点／写真パネル 5点／解説パネル(小) 22点／写真パネル(小) 3点／キャプション 45点

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

関連行事(全2回、参加人数のべ81人)

(1) シンポジウム「『西宮神社御社用日記』を読む」

平成28年7月24日(日) 午後1時～4時30分

聴講者数：51人

場所：西宮市立郷土資料館・集会室

(2) 展示解説会

平成28年8月13日(土) 午前10時～11時

参加人数：30人

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

3. 特集展示

第46回 「西宮神社の石造物 - 春詠む芭蕉、秋の鬼貫 -」

平成28年9月3日(土)～10月2日(日) 午前10時～午後5時(開館日数：26日)

総観覧者数：2,692人

展示資料数：4点(西宮神社境内図／撰津名所図会 3点)

タイトルパネル 1点／写真パネル 6点／解説パネル 20点(翻刻パネル含む)／キャプション 9点／拓本(写) 1点

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

関連行事(全3回、参加人数のべ93人)

(1) バスツアー(阪神南リレーミュージアム バスツアー)

平成28年9月3日(土)

参加人数：42人

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室、西宮神社

(2) 展示解説会

平成28年9月10日(土) 午前10時～11時

聴講者数：17人

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

(3) 現地解説会(西宮歴史調査団と歩く西宮神社)

平成28年10月8日(土) 午前9時30分～11時30分

参加人数：34人

場所：西宮神社、本町、馬場町

4. 今月のアラカルト

今月のアラカルト（全10回）

平成28年4月5日（火）～平成29年3月26日（日）

午前10時～午後5時（開館日数：248日）

観覧者数：25,805人

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

タイトル	開催期間	開催日数	観覧者数	展示資料
4月号 西宮町を知ろう！ 「表大門から見つかった土器」	平成28年4月5日（火） ～5月1日（日）	24日	2,306人	1点（高杯形土器）
5月号 西宮町を知ろう！ 「播磨生まれの器」	平成28年5月3日（火） ～6月5日（日）	30日	2,437人	1点（片口鉢）
6月号 西宮町を知ろう！ 「出現！新たな装いの器」	平成28年6月7日（火） ～7月3日（日）	24日	1,492人	4点（西宮神社社頭遺跡出土 瓦器碗）
9月号 西宮町を知ろう！ 「八馬さんと3つの銀行」	平成28年9月3日（土） ～10月2日（日）	26日	2,625人	3点（定款書）
10月号 西宮町を知ろう！ 「西蓮寺の眼阿弥さん」	平成28年10月4日（火） ～10月30日（日）	24日	2,173人	1点（「西蓮寺宛金山信貞・野間康久連署奉書」〈複製〉）
11月号 西宮町を知ろう！ 「大漁!!イワシ枀」	平成28年11月1日（火） ～11月27日（日）	24日	2,611人	1点（鯛枀）
12月号 西宮町を知ろう！ 「今年も酒づくり、スタート！」	平成28年11月29日（火） ～12月28日（水）	26日	2,628人	1点（ザル）
1月号 西宮町を知ろう！ 「竜吐水、いかがですか。」	平成29年1月5日（木） ～1月29日（日）	22日	5,344人	1点（ポンプの販売広告）
2月号 西宮町を知ろう！ 「修理もおまかせ、鍛冶屋さん。」	平成29年1月31日（火） ～2月26日（日）	24日	2,528人	1点（カナハン）
3月号 西宮町を知ろう！ 「晴れ着選びは悩ましい。」	平成29年2月28日（火） ～3月26日（日）	24日	1,661人	1点（弓床）

5. 指定文化財公開

平成28年度 指定文化財公開～西宮の社寺建築～

平成28年11月1日（火）～11月27日（日） 午前10時～午後5時（開館日数：24日）

観覧者数：2,611人

展示資料数：7点（摂津国名所図会 武庫郡 1点／岡太神社本殿（旧西宮市指定）建築部材 4点／公智神社境内出土大量出土銭／西宮神社表大門イメージ模型 1点）

写真パネル 6点

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

関連行事（全1回、参加人数のべ18人）

(1) 展示解説会

平成28年11月12日（土） 午前10時～11時

参加人数：18人

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

6. 教育普及

郷土の歴史と文化をより深く理解してもらうために、講座の開催・出版・広報などを行った。

(1) 講座・見学会

a. 第32回 親と子の郷土史講座（全6講座、参加人数のべ118人）

番号	タイトル	講師	日時	聴講者数
1	西宮の街道	松村亮教諭（南甲子園小学校） 西本英典教諭（上ヶ原小学校）	平成28年8月16日（火） 午前10時～午後0時	12人
2	江戸時代のくらしを読みとく ～体験！和紙七変化～	当館職員	平成28年8月16日（火） 午後1時30分～3時30分	16人
3	市議会に行こう！	梅木紀男教諭（大社小学校）	平成28年8月18日（木） 午前10時～11時30分	22人
4	戦闘機を作った工場 ～戦争の時代の西宮～	高見祥一教諭（樋ノ口小学校） 早川智洋教諭（安井小学校）	平成28年8月18日（木） 午後1時30分～3時30分	32人
5	昭和モダニズム探訪Ⅰ ～神戸女学院のヴォーリス建築を訪ねよう～	宮崎麻貴教諭（深津小学校）	平成28年8月19日（金） 午前10時～11時30分	22人
6	感じよう味わおう！ヴォーリス建築	國村真教諭（甲子園浜小学校）	平成28年8月19日（金） 午後1時30分～3時30分	14人

場所：1、2、4は西宮市立郷土資料館・講座室、3は西宮市役所議会棟（六湛寺町10-3）、5は神戸女学院（岡田山4-1）、6は中央公民館（高松町4-8）で実施。

b. 西宮市立郷土資料館歴史ハイキング（全3回、参加人数のべ151人）

第41回 津門周辺の文化財をめぐる（さくらFMウォーク）

平成28年5月22日（日） 午前9時30分～午後0時20分

参加人数：35人

見学場所：津門集会所／津門大塚町（アサヒビール工場跡地）発掘現場／昌林寺／津門神社／松原公園／松原神社

第42回 幻の西国街道を歩く（魅力再発見西国街道2016リレーウォーク／まちたび博2016プログラム）

平成28年11月5日（土） 午前9時30分～午後0時30分

参加人数：72人

見学場所：打出駅／西国橋／徳本名号碑／芦屋市立図書館打出分室／金津山古墳／道標／須佐之男神社／夙川公園（西田公園）／越水城跡碑／越水井戸（西井）／馬場先／広田神社

第43回 瓦木周辺の文化財をめぐる（さくらFMウォーク）

平成28年11月20日（日） 午前9時30分～午後0時30分

参加人数：44人

見学場所：高木東第1公園／瓦木消防署／日野公園／日野神社／極楽寺／旧尼崎藩大庄屋岡本家／二見公園

c. 西宮市立郷土資料館・宮水学園自主グループ「ミレニアム2000西宮」共同開催 歴史講座（全4回、参加人数のべ158人）

通算回数	タイトル	講師	日時	聴講者数
第39回	明治・大正の祈りびと - 円満寺臨江庵と 阪神間の長寿講をめぐる -	早栗佐知子（当館職員）	平成28年6月15日（水） 午後1時30分～3時20分	37人
第40回	生瀬の古文書 - 浄橋寺文書の調査から -	衛藤彩子・笠井今日子（当館職員）	平成28年10月19日（水） 午後1時30分～3時15分	39人

通算回数	タイトル	講師	日時	聴講者数
第41回	西宮の横穴式石室について	山田暁（当館職員）	平成28年12月21日（水） 午後1時30分～3時	35人
第42回	西宮漁民の房総進出顛末記	西川卓志（当館職員）	平成29年2月15日（水） 午後1時30分～3時	47人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

(2) 印刷・出版

- a. 『郷土資料館行事予定案内リーフレット 平成28年度』
- b. 『西宮町人の生活と文化 - 江戸時代の日記を読み解く - 』（西宮市立郷土資料館第32回特別展示案内図録）
- c. 『特別展示ポスター』
- d. 『特別展示チラシ』
- e. 『西宮歴史調査団年報 2015年度版』
- f. 『西宮歴史調査団ニュース』第5号
- g. 『西宮市立郷土資料館報 平成27年度（2015）』
- h. 『研究報告』第十一集
- i. 『西宮市立郷土資料館ニュース』第45号
- j. 『西宮市立郷土資料館ニュース』第46号
- k. 『親と子の郷土史講座チラシ』
- l. 『第32回 親と子の郷土史講座講義資料集』
- m. 『西宮市文化財資料』第63号（「西宮神社御社用日記」調査報告書）
- n. 『西宮市文化財資料』第64号（「考古小録」及び関係品調査報告書）

(3) 広報

a. 西宮市政ニュース

一般広報（4/10号、4/25号、5/25号、6/10号、6/25号、7/10号、7/25号、8/10号、8/25号、9/25号、10/10号、10/25号、11/10号、11/25号、12/10号、1/1号、1/25号、2/10号、3/25号）

b. インターネット

西宮市ウェブサイトの内「歴史と文化財」において、郷土資料館及び文化財に関する情報ページを運営した。

c. ケーブルテレビ

ベイ・コミュニケーションズ「ベイコム地元ニュース」（5月6日～5月7日、7月23日～7月25日、9月15日～9月16日、10月6日～10月7日）

d. ラジオ

さくらFM「歴史と文化の散歩道」（「4月アラカルト展「西宮町を知ろう！～表大門から見つかった土器～」4月3日／「津門大塚町遺跡（アサヒビール工場跡地）発掘現場から」4月24日／「5月アラカルト展「西宮町を知ろう！～播磨生まれの器～」5月22日／「歴史講座「明治・大正の祈り人 - 円満寺臨江庵と阪神間の長寿講をめぐって - 」5月29日／「6月アラカルト展「西宮町を知ろう！～出現！新たな装いの器～」6月5日／「特別展示「西宮町人の生活と文化～江戸時代の日記を読み解く～」7月24日／「「地蔵」について」8月21日／「「西宮の秋祭り」について」9月4日／「特集展示「西宮神社の石造物～春詠む芭蕉、秋の鬼貫～」9月11日／「9月アラカルト展「西宮町を知ろう！～八馬さんと3つの銀行～」9月18日／「10月アラカルト展「西宮町を知ろう！～西蓮寺の眼阿弥さん～」10月16日／「11月アラカルト展「西宮町を知ろう！～大漁!!イワシ柁～」11月13日／「指定文化財公開展「西宮の社寺建築」11月20日／「12月アラカルト展「西宮町を知ろう！～今年も酒づくり、スタート！～」12月11日／「発掘調査について（高塚古墳・高畑町遺跡）」12月18日／「1月アラカルト展「西宮町を知ろう！～竜吐水、いかがですか？～」1月15日／「2月アラカルト展「西宮町を知ろう！～修理もおまかせ、鍛冶屋さん。～」2月5日／「3月アラ

カルト展「西宮町を知ろう！～晴れ着選びは悩ましい。～」(3月5日)、さくらFM「まちたびラヂヲ」(「さくらFM ウォーク」5月22日/「街なかホットレポート」8月14日/「さくらFMウォーク」11月20日)、さくらFM「西宮徹底解剖」(「にしのみやの古墳」4月4日/4月11日/4月18日/4月25日、「西宮町人の生活と文化～江戸時代の日記を読み解く～」7月4日/7月11日/7月18日/7月25日、「西宮ふるさと民話あれこれ」10月3日/10月10日/10月17日/10月24日、「西宮の古刹・名刹」1月9日/1月16日/1月23日/1月30日)

(4) 職員の出講事業

派遣先	講座名等	出講日	講師名
兵庫県歴史文化遺産活用活性化実行委員会	但馬無形民俗文化財調査委員	平成28年4月1日～平成29年3月31日	西尾嘉美
関西大学	博物館実習	平成28年4月1日～平成29年3月31日	合田茂伸
関西大学	博物館実習	平成28年4月1日～平成29年3月31日	西川卓志
関西大学	博物館概論	平成28年4月1日～平成28年9月20日	西川卓志
宮水学園自主グループ古社寺会	「西宮の街道」について	平成28年4月26日	俵谷和子
西宮市認知症介護者の会さくら会	ゆるやかつながりサポーター養成講座	平成28年7月21日	西尾嘉美
宮水学園自主グループ古社寺会	古社寺会講演「岡太神社の由緒と祭り」	平成28年8月23日	西尾嘉美
武庫川女子大学生生活美学研究所	甲子プロジェクト平成28年度第2回研究会 「旧甲子園ホテルの意匠について - 打出の小槌と大黒さま -」	平成29年1月13日	西尾嘉美
神原公民館	神原公民館活動推進委員会講座「発掘調査で探る西宮地方の古代史」	平成29年1月18日	合田茂伸
西宮市環境衛生協議会	第60回西宮市環境衛生大会(第2部)記念講演 「西宮の文化財 分かるとまちが好きになる!? ～身近なところにある天然記念物～」	平成29年2月10日	合田茂伸
宮水学園自主グループ古社寺会	古社寺会講演「鷲林寺の歴史と祭り」	平成29年2月28日	早栗佐知子
小松校区区民交流ひろば	「鳴尾の歴史について(幕末～大正末)」	平成29年2月25日	俵谷和子
大市秋の例大祭保存継承実行委員会	「西宮市の文化遺産について」	平成28年3月4日	西尾嘉美

7. 共催・後援事業

(1) 講座・講演会

a. (公財) 白鹿記念酒造博物館

平成 28 年度白鹿記念酒造博物館特別講演会

「傘寿を迎えた酒米の王者「山田錦」について」池上勝氏（兵庫県立農林水産技術総合センター 研究主幹）

平成 28 年 7 月 30 日（土） 午後 2 時 ～ 3 時

参加人数：45 人

場所：白鹿記念酒造博物館 記念館 2 階視聴覚室（鞍掛町 8-21）

b. (公財) 黒川古文化研究所 夏季講座（全 4 講座、参加人数のべ 304 人）

第 62 回「インド仏教美術の伝来と石窟寺院」

「インド仏教石窟に見る仏教と美術の歩み」定金計次氏（京都市立芸術大学名誉教授）

「中国北魏の雲岡石窟」曾布川寛氏（黒川古文化研究所所長）

平成 28 年 7 月 30 日（土） 午前 9 時 30 分 ～ 午後 0 時 30 分

参加人数：161 人

場所：西宮市立勤労会館ホール（松原町 2-37）

「慶州石窟庵と韓日の摩崖造像」稲本泰生氏（京都大学人文科学研究所准教授）

「中央アジアの仏教石窟 - バーミヤンとキジル - 」宮治昭氏（龍谷大学特任教授）

平成 28 年 7 月 31 日（日） 午前 9 時 30 分 ～ 午後 0 時 30 分

参加人数：143 人

場所：西宮市立勤労会館ホール（松原町 2-37）

c. 西宮市内博物館等連携講座（全 9 回、参加人数のべ 243 人）

通算回数	タイトル	講師	日時	聴講者数
第 39 回	18 世紀の古文化財調査 - 『集古十種』刀剣篇の成立過程 -	川見典久氏（黒川古文化研究所研究員）	平成 28 年 9 月 8 日（木） 午後 1 時 30 分 ～ 3 時	17 人
第 40 回	下り酒と樽廻船	大浦和也氏（白鹿記念酒造博物館学芸員）	平成 28 年 9 月 29 日（木） 午後 1 時 30 分 ～ 3 時	19 人
第 41 回	ミャンマー・古代ピューの考古遺産調査 - ユネスコ世界遺産登録後の課題 -	魚津知克氏（大手前大学史学研究所）	平成 28 年 10 月 13 日（木） 午後 1 時 30 分 ～ 3 時	20 人
第 42 回	祭礼の基盤・構造・機能 - 西宮・近畿の地域資料から -	西尾嘉美（当館職員）	平成 28 年 10 月 27 日（木） 午後 1 時 30 分 ～ 3 時	21 人
第 43 回	武士が描いた絵画	杉本欣久氏（黒川古文化研究所研究員）	平成 28 年 11 月 10 日（木） 午後 1 時 30 分 ～ 3 時	19 人
第 44 回	徳川期東六甲採石場における西国大名の石切り	森下真企（当館職員）	平成 28 年 12 月 1 日（木） 午後 1 時 30 分 ～ 3 時	35 人
第 45 回	弥生青銅器の併行関係論 - 序 -	青木政幸氏（辰馬考古資料館学芸員）	平成 28 年 12 月 22 日（木） 午後 1 時 30 分 ～ 3 時	28 人
第 46 回	考古学における年代決定 - 入門考古学 2 -	上原真人氏（辰馬考古資料館館長）	平成 29 年 1 月 19 日（木） 午後 1 時 30 分 ～ 3 時	48 人
第 47 回	江戸時代の西宮神社における武家の参詣	松本和明氏（西宮神社文化研究所研究員）	平成 29 年 2 月 2 日（木） 午後 1 時 30 分 ～ 3 時	36 人

場所：大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター（郷免町 8-17）。ただし、第 40 回のみ白鹿記念酒造博物館（鞍掛町 8-21）。

d. (公財) 辰馬考古資料館 講演会

「淡路の銅鑿」難波洋三氏（前奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長）

平成28年11月5日（土） 午後1時30分～3時15分

参加人数：85人

場所：西宮市立郷土資料館・集会室

e. 西宮市立北口図書館・郷土資料館連携講座

第3回市民が語る「西宮いまむかし物語」@にしきた

「北摂一の軍師 田近新次郎 - 西昆陽庄から豊後岡へ、そして再び西宮へ -」荒木知氏（西宮歴史調査団）

平成28年12月22日（火） 午後2時～3時30分

聴講者数：57人

場所：西宮北口図書館・AVホール(北口町1-2)

f. 西宮市立北部図書館・郷土資料館連携講座

「山口町の文化財」俵谷和子（当館職員）

聴講者数：17人

場所：山口公民館・第2・3集会室（山口町下山口4-1-8）

平成28年12月2日（金）午後1時30分～3時

g. 西宮市文化協会総会 記念講演会

「文化遺産から見た、千年のまち西宮の歴史」合田茂伸（当館職員）

聴講者数：57人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

平成28年4月10日（日）午後1時45分～3時15分

(2) 展覧会

a. (公財) 白鹿記念酒造博物館

春季特別展 笹部さくらコレクション「桜スタイル」

平成28年3月18日（金）～5月30日（月）

観覧者数：3,618人

場所：白鹿記念酒造博物館（鞍掛町8-21）

館蔵品展「謎解き錦絵 - ヒストリー・ミステリー・パロディー -」

平成28年7月13日（月）～8月29日（月）

観覧者数：1,313人

場所：白鹿記念酒造博物館（鞍掛町8-21）

秋季特別展「やきものグラフィィー」

平成28年9月14日（水）～11月21日（日）

観覧者数：8,168人

場所：白鹿記念酒造博物館（鞍掛町8-21）

企画展「節句の人形」

平成29年1月25日（水）～3月5日（日）

観覧者数：3,365人

場所：白鹿記念酒造博物館（鞍掛町8-21）

b. (公財) 黒川古文化研究所

第115回展覧「明清書画の清雅・名物刀剣の冴輝・慶長小判の誕生 - 黒川古文化研究所名品展 -」

平成28年4月16日(土)～5月29日(日)

観覧者数: 984人

場所: 黒川古文化研究所・展示室(苦楽園三番町14-50)

第116回展覧「武士が描いた絵画」

平成28年10月15日(土)～11月27日(日)

観覧者数: 633人

場所: 黒川古文化研究所・展示室(苦楽園三番町14-50)

c. 西宮市立北口図書館・郷土資料館連携事業

展示&ブックフェア「ながいおつきあい 紙」

平成28年7月8日(金)～8月3日(水) 午前10時～午後5時(開館日数: 24日)

場所: 西宮市立北口図書館・西側壁面展示書架及び展示ケース台(北口町1-2 ACTA 西宮東館5階)

展示&ブックフェア「西宮歴史“発見”物語」

平成28年12月2日(金)～平成29年1月15日(日) 午前10時～午後5時(開館日数: 32日)

場所: 西宮市立北口図書館・西側壁面展示書架及び展示ケース2台(北口町1-2 ACTA 西宮東館5階)

(3) その他

a. ひょうごミュージアムフェア実行委員会

ひょうごミュージアムフェア2016「立体パズルに挑戦! - 積上式横板組井戸 -」

平成28年10月1日(土) 午前10時～午後4時

参加人数: 137人

場所: 神戸ハーバーランド・スペースシアター(神戸市中央区東川崎町1丁目 センタービル地下1階)

b. ゆるやかつながりサポーター養成講座

「聴くこと! 語ること!」～お互いに支えあうために～ 橘高通泰氏(兵庫県医科大学名誉教授 NPO法人ハートフル理事長)

平成28年11月5日(土) 午後1時～5時

参加人数: 9人

場所: 西宮市立郷土資料館・講座室

「思い出ばなしで脳いきいき!」～いっぱいしゃべると、認知予防?～ 西尾嘉美(当館職員)

平成28年11月24日(木) 午後1時～5時

参加人数: 7人

場所: 西宮市立郷土資料館・講座室

8. 資料の収集・保存・調査・研究

(1) 収蔵資料の概要（合計：38,477点）

	民俗資料	教育史資料	考古資料	歴史資料	戦時生活資料	合計
平成27年度まで	8,758	17,166	942	10,550	1,046	38,462
平成28年度寄贈	0	0	0	7	0	7
平成28年度購入	0	0	0	8	0	8
平成28年度制作	0	0	0	0	0	0
累計	8,758	17,166	942	10,565	1,046	38,477

a. 寄贈資料

歴史資料

近世摂津国地誌ほか5点／太閤窯製品（花入）1点／絵葉書（ホテルパインクレスト）1点

b. 購入資料

歴史資料

文久3年（1863年）薩英戦争関係資料／引札（西宮 嘉治善兵衛）／引札（西宮札場札筋 中務萬吉）／引札（鳴尾村 八百寅）／昭和前期甲陽園地図／新增補大日本船路細見記／見世物興行引札／兵庫県武庫郡瓦木村全図

(2) 図書を寄贈いただいた機関

青森県立郷土館、明石市立天文科学館、赤穂市立美術工芸館、赤穂市立歴史博物館、尼崎市立田能資料館、尼崎市立地域研究史料館、綾部市資料館、有田市郷土資料館、池田市立歴史民俗資料館、泉大津市立織編館、和泉市いずみの国歴史館、板橋区立郷土資料館、伊丹市立博物館、伊丹市立美術館、茨木市立文化財資料館、岩手県立博物館、植村直己冒険館、宇治市歴史資料館、NHK博物館、愛媛県歴史文化博物館、大分市歴史資料館、大阪市立住まいのミュージアム（大阪くらしの今昔館）、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立弥生文化博物館、大阪歴史博物館、大田区立郷土資料館、大津市歴史博物館、大山崎町歴史資料館、小野市立好古館、香川県立ミュージアム、（公財）柿庵文庫、鹿児島大学総合研究博物館、柏原市立歴史資料館、葛城市歴史博物館、上郡町郷土資料館、亀岡市文化資料館、関西大学博物館、北九州市立自然史・歴史博物館、京都府京都文化博物館、京都府丹後郷土資料館、京都府立山城郷土資料館、虚子記念文学館、清荒神清澄寺鉄斎美術館、草津宿街道交流館、熊本市熊本博物館、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）、神戸市立小磯記念美術館、神戸市立博物館、神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館、神戸深江生活文化史料館、（独）国立科学博物館、（独）国立文化財機構奈良文化財研究所飛鳥資料館、埼玉県立川の博物館、堺市博物館、静岡市立登呂博物館、上越市立総合博物館、昭和館、吹田市立博物館、世田谷区立郷土資料館、太子町立歴史資料館、（公財）竹中大工道具館、但馬国府・国分寺館、たつの市立龍野歴史文化資料館、天理参考館、東京都江戸東京博物館、同志社大学歴史資料館、富山県[立山]博物館、長野市立博物館、名古屋市博物館、奈良県立民俗博物館、南丹市日吉町郷土資料館、南丹市立文化博物館、新潟市歴史博物館、西宮市貝類館、（公財）日本のあかり博物館、（共）人間文化研究機構国立歴史民俗博物館、沼津市明治史料館、沼津市歴史民俗資料館、（公財）白鶴美術館、パナソニック汐留ミュージアム、播磨町郷土資料館、半田市立博物館、東大阪市立郷土博物館、彦根城博物館、姫路市書写の里・美術工芸館、姫路市立美術館、姫路文学館、兵庫県立考古博物館、兵庫県立美術館、兵庫県人と自然の博物館、兵庫県立歴史博物館、兵庫陶芸美術館、平塚市博物館、福岡市博物館、府中市郷土の森博物館、向日市文化資料館、みくに龍翔館、明治大学博物館、八尾市立歴史民俗資料館、野洲市歴史民俗博物館、安中新田会所跡 旧植田家住宅、吉野歴史資料館、立命館大学国際平和ミュージアム、歴史館いずみさの、和歌山県立博物館、和歌山県立文書館、和歌山市立博物館

（公財）アイヌ文化振興・研究推進機構、明石葵会、明石民俗文化財調査団、猪名川町歴史文化遺産活性化実行委員会、大市秋の例大祭保存継承実行委員会、（公財）大阪市博物館協会大阪文化財研究所、大阪大学埋蔵文化財調査委員会、（公財）大阪府文化財センター、岡山県古代吉備文化財センター、華頂短期大学歴史学科、（公財）元興寺文化財研究所、かんさい・大学ミュージアム連携実行委

員会、関西学院大学史学会、九州大学保健福祉大学学芸員養成課程、京都女子大学博物館学芸員養成課程、(公財)京都府埋蔵文化財調査研究センター、宮内庁書陵部、(公財)黒川古文化研究所、甲東文化財保存会、甲南大学文学部、神戸女子大学古典芸能研究センター、神戸女子大学史学科、神戸新聞総合出版センター、神戸大学大学院人文学研究科、國學院大學博物館学研究室、(独)国立文化財機構奈良文化財研究所、(独)国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財センター、滋賀民俗学会、四条畷市史編さん委員会、松陰女子学院、宝塚の古文書を読む会、たつの市立埋蔵文化財センター、だんじりを活かした地域共働事業実行委員会、津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会、東邦大学付属東邦高等学校東邦考古学研究会、鳥取大学地域学部考古学研究室、豊橋市美術館友の会、(公財)長岡京市埋蔵文化財センター、奈良大学文学部文化財学科、新潟市文化財センター、西宮古文書を読む会、西宮市立高須中学校、西宮神社、西宮文化協会、(公財)日本文化財保護協会、日本民具学会、(公財)日本ユネスコ協会連盟、(公財)阪急文化財団、美術館連絡協議会事務局、姫路市埋蔵文化財センター、(公財)兵庫県まちづくり技術センター、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科 RRM、兵庫県歴史文化遺産活用活性化実行委員会、ひょうごへりテージ機構 H20、平等院、福井県教育庁埋蔵文化財調査センター、福岡市経済観光文化局埋蔵文化財センター、福岡町文化協会、文化庁、松阪市文化財センター、宮水学園自主グループミレニアム 2000 西宮、(公財)八尾市文化財調査研究会、楽浪文化財修理所、(公財)和歌山市文化スポーツ振興財団

県市町村及び教育委員会(明石市、赤穂市、朝倉市、朝来市、尼崎市、綾部市、有田市、泉大津市、泉佐野市、和泉市、板橋区、伊丹市、猪名川町、茨木市、うきは市、越前市、岡山県、小野市、貝塚市、海南市、加西市、橿原市、かつらぎ町、加東市、河内長野市、川西市、上牧町、北九州市、熊本市、神戸市、越谷市、御所市、埼玉県、堺市、狭山市、四条畷市、島根県、下関市、吹田市、善通寺市、泉南市、総社市、大東市、高砂市、高槻市、宝塚市、丹波市、豊岡市、豊中市、富田林市、長岡京市、新潟市、西宮市、西脇市、姫路市、兵庫県、枚方市、福崎町、福山市、袋井市、藤井寺市、米原市、三木市、三豊市、南あわじ市、八尾市、野洲市、吉野川市、和歌山県)

(3) 調査・研究

a. 収蔵資料の調査研究

民俗資料の整理作業
歴史資料の整理作業
教育史資料の整理作業
考古資料の整理作業

b. 専門分野の調査研究

漁労用具に関する調査研究
近世日記資料(西宮町、上瓦林村、「西宮神社御社用日記」)の調査研究
宗旨人別帳(西宮町)の調査研究
徳川大坂城東六甲採石場に関する調査
生瀬地区の文化遺産に関する調査研究

(4) 収蔵資料の燻蒸処理

有害生物除去のため展示室及び収蔵庫の燻蒸を下記の通り行った。

a. 燻蒸処理(歴史資料、民俗資料、古文書、教科用図書等)

場所：常設展示室、収蔵庫全室
実施日：平成 28 年 12 月 19 日(月)
使用薬剤：ブンガノン、ライセント

9. 文化財調査ボランティア（西宮歴史調査団）

(1) 調査活動（登録者 27 人、のべ 515 人、74 日 ただし個人活動は除く）

平成 18 年度より行っている市民主体の資料調査事業である。月 1 回の定例会を実施するとともに、登録者が 4 班に分かれ市内の文化財調査を進めた。活動は 1 年を通して実施、班を重複した登録者もいた。

a. 石造物調査班

日野神社・廣田神社の石造物について、所在、法量、材質、銘等を調査し、記録した。

調査員数：9 人

b. 橋梁調査班

市内の河川に架かる橋梁の現況や名称の由来等を調査し、記録した。また、調査結果を表などに整理した。

調査員数：7 人

c. 古文書調査班

旧西宮町の宗旨人別帳を調査し、記録した。

調査員数：13 人

d. 竜吐水調査班

甲東地区・山口地区等市内の消防署・消防分団・個人蔵等の伝統的消防用具や関係資料等を実測・調査し、記録した。

調査員数：9 人

(2) 定例会（全 12 回、参加人数のべ 208 人）

	内容	日時	参加人数
4 月定例会	オリエンテーション 団員の顔合わせ、自己紹介、団長選出	平成 28 年 4 月 9 日（土） 午前 9 時 30 分～午後 0 時	20 人
5 月定例会	学芸員によるミニ研修 「文化財調査のツボ」①ツボ	平成 28 年 5 月 14 日（土） 午前 9 時 30 分～午後 0 時	14 人
6 月定例会	学芸員によるミニ研修 「文化財調査のツボ」②紙	平成 28 年 6 月 11 日（土） 午前 9 時 30 分～午後 0 時	16 人
7 月定例会	第 46 回特集展示「西宮神社の石造物～春詠む芭蕉、秋の鬼貫～」準備情報	平成 28 年 7 月 9 日（土） 午前 9 時 30 分～11 時 30 分	18 人
8 月定例会	第 32 回特別展示「西宮町人の生活と文化—江戸時代の日記を読み解く—」見学・解説	平成 28 年 8 月 13 日（土） 午前 9 時 30 分～11 時 30 分	15 人
9 月定例会	第 46 回特集展示「西宮神社の石造物～春詠む芭蕉、秋の鬼貫～」見学・解説	平成 28 年 9 月 10 日（土） 午前 9 時 30 分～午後 0 時 20 分	17 人
10 月定例会	現地解説会「西宮歴史調査団と歩く西宮神社」	平成 28 年 10 月 8 日（土） 午前 9 時 30 分～11 時 30 分	17 人
11 月定例会	平成 28 年度指定文化財公開「西宮の社寺建築」と今月のアラカルト見学・解説	平成 28 年 11 月 12 日（土） 午前 9 時 30 分～午後 0 時	18 人
12 月定例会	高塚 1 号墳発掘調査成果現地説明会	平成 28 年 12 月 10 日（土） 午前 10 時 00 分～11 時 30 分	14 人
1 月定例会	学芸員によるミニ研修 「文化財調査のツボ」③テレビ	平成 29 年 1 月 14 日（土） 午前 9 時 30 分～11 時 30 分	17 人
2 月定例会	学芸員によるミニ研修 「文化財調査のツボ」④石	平成 29 年 2 月 11 日（土） 午前 9 時 30 分～11 時 30 分	17 人

	内容	日時	参加人数
3月定例会	平成28年度活動報告会・平成29年度団員登録会	平成29年3月11日(土) 午後1時30分～3時45分	25人

(3) その他活動

a. 平成28年度活動報告会・平成29年度団員登録会

平成29年3月11日(土) 午後1時30分～3時45分

参加人数：25人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

b. 西宮歴史調査団年報

『西宮歴史調査団年報 2015年度版』平成29年3月10日発行

c. 西宮歴史調査団通信

毎月定例会に合わせて発行し、西宮歴史調査団員に配布した。また、郷土資料館事務所前に掲示した。

d. 西宮歴史調査団ニュース

『西宮歴史調査団ニュース』第5号 平成29年3月23日発行

内容：「赤くてかわいい竜吐水（竜吐水班中間報告）」

e. 西宮歴史調査団と歩く西宮神社（歴史調査団現地解説会）

平成28年10月8日(土) 午前9時30分～11時30分

参加人数：34人

見学場所：西宮神社／本町／馬場町

f. 尼崎市教育委員会主催事業への協力

歴史遺産保存活用フォーラム in 尼崎 平成29年3月25日(土) 午後2時～5時

参加人数：101人

内容：【第1部】報告&紹介 - 歴史遺産を守り活かす活動に学ぶ

- ・基調報告「歴史遺産の保存・活用に向けた活動について - 学会の活動を中心に -」

講師：川口宏海氏（大手前大学教授、尼崎市文化財保護審議会委員）

- ・事例紹介 尼崎市：富松城跡を活かすまちづくり委員会 藤井康正氏

西宮市：西宮歴史調査団 栗野光一氏

伊丹市：御願塚史跡保存会 大田幸蔵氏

豊中市：とよなか・歴史と文化の会 吉岡正起氏

【第2部】意見交換 - 歴史遺産の保存・活用のこれからを考える

- ・パネリスト 川口宏海氏、藤井康正氏、栗野光一氏、大田幸蔵氏、吉岡正起氏

場所：尼崎市小田公民館・1階ホール(尼崎市潮江1丁目11番1-101号)

g. 西宮市立北口図書館・郷土資料館連携事業

西宮市立北口図書館と連携し、講座・展示を行った。事業名は以下の通り。（詳細は「7. 共催・後援事業」）

第3回市民が語る「西宮いまむかし物語」@にしきた

「北摂一の軍師 田近新次郎 - 西昆陽庄から豊後岡へ、そして再び西宮へ -」

展示&ブックフェア「西宮歴史“発見”物語」

II 郷土資料館分館名塩和紙学習館の運営

伝統産業である「名塩紙」（国指定・兵庫県指定無形文化財）への理解を深めることを目的に、常設展示室において関連資料の展示を行うとともに、紙すき実習の指導を行った。なお、和紙学習館の運営にあたっては、その一部を名塩和紙学習館紙すき推進委員会に委託した。

1. 平成 28 年度利用状況

(1) 紙すき体験学習

事前に申し込みのあった団体に、専門の指導員が実習の指導を行った。

a. 紙すき実習利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学校 団体	団体数	0	15	3	0	0	2	7	7	1	5	3	0	43
	利用者数	0	390	376	0	0	130	550	392	53	381	189	0	2,461
一般 団体	団体数	2	1	1	7	4	3	2	1	1	1	7	2	32
	利用者数	115	5	8	91	69	24	9	4	30	13	48	29	445
団体数合計		2	16	4	7	4	5	9	8	2	6	10	2	75
利用者数合計		115	395	384	91	69	154	559	396	83	394	237	29	2,906

b. 利用者一覧

学校団体

番号	月	日	団体名	人数
1	5	18	名塩小学校2年生 まごころAM	90
2	5	18	名塩小学校2年生 まごころPM	29
3	5	20	名塩小学校3年生まごころAM	86
4	5	20	名塩小学校3年生まごころPM	29
5	5	23	塩瀬中学校トライやるウィーク AM	7
6	5	23	塩瀬中学校トライやるウィーク PM	7
7	5	24	塩瀬中学校トライやるウィーク AM	7
8	5	24	塩瀬中学校トライやるウィーク PM	7
9	5	25	塩瀬中学校トライやるウィーク AM	7
10	5	25	塩瀬中学校トライやるウィーク PM	7
11	5	26	塩瀬中学校トライやるウィーク AM	7
12	5	26	塩瀬中学校トライやるウィーク PM	7
13	5	27	東山台小学校3年生	86
14	5	27	塩瀬中学校トライやるウィーク AM	7
15	5	27	塩瀬中学校トライやるウィーク PM	7

番号	月	日	団体名	人数
16	6	1	名塩小学校2年生まごころ	119
17	6	3	名塩小学校3年生まごころ	115
18	6	7	甲子園浜小学校3年生	142
19	9	16	鳴尾小学校3年生	49
20	9	29	西宮浜小学校3年生	81
21	10	4	上甲子園小学校3年生	121
22	10	6	高須西小学校3年生	59
23	10	12	高須小学校3年生	56
24	10	18	瓦木小学校3年生	89
25	10	19	名塩幼稚園	22
26	10	25	高木北小学校3年生	99
27	10	27	大社小学校3年生	104
28	11	1	深津小学校3年生	65
29	11	10	名塩小学校卒業証書AM	65
30	11	10	名塩小学校卒業証書PM	57
31	11	14	東山台小学校卒業証書1・2組	71
32	11	14	東山台小学校卒業証書3組	36
33	11	18	生瀬小学校卒業証書1・3組	66
34	11	18	生瀬小学校卒業証書2組	32
35	12	7	山口小学校3年生	53
36	1	10	卒業証書欠席児童	2
37	1	12	名塩小学校4年生	124
38	1	19	名塩小学校5年生	108
39	1	24	生瀬小学校3年生	77
40	1	27	上ヶ原南小学校3年生	70
41	2	8	名塩小学校1年生AB組	54
42	2	9	名塩小学校1年生CD組	54
43	2	24	北六甲台小学校3年生	81
			合計	2,461

一般団体

番号	月	日	団体名	人数
1	4	7	西宮市研修厚生課	58
2	4	8	西宮市研修厚生課	57
3	6	28	カルチャー	8
4	7	5	東山台小学校PTA	14
5	7	16	学校教育課	6
6	7	19	絵手紙みそか	11
7	7	21	たわ会	9
8	7	28	塩瀬地区教職員研修会	17
9	7	29	夙川プリスクール学童	21
10	8	6	夏休み親子紙すき	12
11	8	10	姫路市文化財保護協会	28

番号	月	日	団体名	人数
12	8	13	主催事業子供紙すき絵画展	17
13	8	18	西宮チャペル教会子供会	12
14	9	17	名塩子供教室	3
15	9	25	午日会	17
16	10	1	名塩子供教室	4
17	10	7	卒業証書紙すき研修会	5
18	12	3	市社協名塩分区分X' mas カード作り	30
19	1	17	学校厚生会	13
20	2	14	大阪教育大学美術教育専攻	13
21	3	8	夙川公民館活動推進委員会	15
22	3	25	春休み親子紙すき	14
			合計	384

団体合計：65団体・2,845人

(2) 常設展示

名塩紙の特徴やその歴史を深く理解してもらうため、紙すき道具や製品を展示するとともに、実際に紙をすく様子を撮影したVTRを映写し、観覧者の学習に供した。

常設展示室入場者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	26	26	26	27	26	26	26	27	24	23	24	27	308
市内入場者数	15	2	123	5	2	15	37	47	6	3	3	3	261
市外入場者数	57	39	8	6	14	2	70	34	2	4	37	53	326
入場者数合計	72	41	131	11	16	17	107	81	8	7	40	56	587

(3) 臨時開館期間

期間	目的
平成28年11月14日(月)	東山台小学校6年生による卒業証書用紙の抄紙実習及び紙刷き作業を実施するため (東山台小学校と名塩和紙学習館の日程調整の結果、11月14日に実習可能となった。)

(4) 利用料金等

a. 実習指導負担金(市外の方は倍額 別途材料費)

10人～16人の団体：2,500円

17人～24人の団体：5,000円

25人～40人の団体：7,500円

b. 施設使用料等（上段：施設使用料、下段：冷暖房費、市外の方は倍額）

使用区分	実習室	集会室
9時～12時	1,000円	1,000円
	200円	200円
12時30分～17時	1,300円	1,300円
	260円	260円

2. 教育普及

少人数による和紙学習館利用を促進するため、郷土資料館紙すき教室を隔月で実施した。また、名塩紙の理解をより深めるため、原料の調整から紙すきまでの工程全体を学習する実習講座を実施した。

(1) 主催実習事業

参加人数：のべ61人

a. 定例紙すき教室（全4回）

平成28年5月8日（日）、7月10日（日）、9月11日（日）、11月13日（日）

講師：八木米太郎氏（名塩和紙学習館紙すき推進委員会）

場所：名塩和紙学習館・実習室

b. 紙すき教室「本格紙漉きに挑戦！」（全1回）

平成29年2月3日（金）、2月4日（土）、2月5日（日）、2月7日（火）

講師：八木米太郎氏（名塩和紙学習館紙すき推進委員会）

場所：名塩和紙学習館・実習室

(2) 共催実習事業

参加人数：のべ26人

a. 夏休み親子紙すき

平成28年8月6日（土）

b. 春休み親子紙すき

平成29年3月25日（土）

(3) トライやるウィーク

学校：塩瀬中学校2年生

人数：のべ70人

期間：平成28年5月23日（月）～5月27日（金）

実施日時	実施内容（午前）	実施内容（午後）
第1日 平成28年5月23日（月）	ビデオ学習 作品(団扇)図案検討	原料採集 原料づくり①（雁皮みしり）
第2日 平成28年5月24日（火）	原料づくり②（釜たき） 作品加工①	原料づくり③（ちりより・叩解） 作品加工②
第3日 平成28年5月25日（水）	作品加工③（紙漉き（作品用））	作品加工④（紙刷き） 紙漉き
第4日 平成28年5月26日（木）	谷徳製紙所見学、紙すき指導練習	板おろし 作品加工⑤（仕上げ）
第5日 平成28年5月27日（金）	東山台小学校3年生抄紙助手	和紙の基礎学習 反省会

III 西宮市立郷土資料館条例および施行規則

1. 西宮市立郷土資料館条例

(昭和 59 年 12 月 28 日)

(西宮市条例第 17 号)

沿 革

平成 12 年 3 月 30 日 条例 59 号 [1]

平成 13 年 12 月 26 日 条例 20 号 [2]

平成 26 年 12 月 18 日 条例 28 号 [3]

(設置)

第 1 条 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、もつて市民の教育、文化の向上に資することを目的として、西宮市立郷土資料館（以下「資料館」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 資料館は、西宮市川添町 15 番 26 号に置く。

(分館) [2]

第 2 条の 2 資料館の分館として名塩和紙学習館（以下「学習館」という。）を置く。[2]

2 学習館は、西宮市名塩 2 丁目 10 番 8 号に置く。[2]

(事業)

第 3 条 資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料（以下「資料」という。）の収集、保管及び展示並びに和紙実習等に関すること。
- (2) 資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (4) 博物館、学校その他の関係機関と相互協力を行うこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、第 1 条の目的を達成するために必要な事業

[2]

(職員)

第 4 条 資料館に、館長その他の職員を置く。

(観覧料)

第 5 条 資料館の観覧料は無料とする。ただし、西宮市教育委員会（以下「委員会」という。）が特に必要と認めるものについては、委員会が定めるところにより、観覧料を徴収することができる。

(使用の許可等) [2]

第 6 条 別表に掲げる学習館の施設を使用しようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。[2]

2 委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、使用を許可しない。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 施設等を破損し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (3) 営利を目的とするとき。
- (4) 管理運営上支障があるとき。
- (5) その他委員会が使用を不相当と認めるとき。

[2]

(使用料の納付等) [2]

第 7 条 前条第 1 項の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、別表に定める使用料を納付しなければならない。ただし、委員会において特別の理由があると認めるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。[2]

2 既に納付した使用料は、返還しない。ただし、委員会において特別の理由があると認めるときは、その全額又は一部を返還すること

ができる。[2]

(実習費の納付等) [3]

第8条 使用者が学習館において、和紙実習の指導を受けるときは、委員会規則で定める実習費を納付しなければならない。ただし、委員会において特別の理由があると認めるときは、実習費を減額し、又は免除することができる。[3]

(使用許可の取消) [2]

第9条 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消すことができる。

- (1) 第6条第2項各号のいずれかに該当するとき。
- (2) この条例又はこの条例に基づく委員会規則に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の行為により許可を受けたとき。
- (4) 前3号に定めるもののほか、公益上委員会が特に必要と認めるとき。

[2] [3]

(使用权の譲渡等の禁止) [2]

第10条 使用者は、学習館の使用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。[2] [3]

(特別利用の許可)

第11条 資料の模写、模造、撮影その他特別利用をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。[2] [3]

(原状回復等) [2]

第12条 資料館の施設等を汚損し、破損し、又は滅失した者は、速やかにこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、委員会がやむを得ない事由があると認めるときは、賠償の額を減免することができる。[2] [3]

(入館の制限) [1]

第13条 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者については、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序、善良な風俗その他公益を害し、又はそのおそれがある者
- (2) 建物、設備、資料等を損傷し、又はそのおそれがある者
- (3) 営利を目的とする行為をし、又はそのおそれがある者
- (4) その他管理上必要な指示に従わない者

[1] [2] [3]

(規則への委任)

第14条 この条例の施行について必要な事項は、委員会規則で定める。[1] [2] [3]

付 則

この条例は、昭和60年4月1日から施行する。

付 則 (平成12年3月30日西宮市条例第59号 [1] 西宮市立図書館条例等の一部を改正する条例3条による改正付則)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

付 則 (平成13年12月26日西宮市条例第20号 [2])

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

付 則 (平成26年12月18日西宮市条例第28号 [3])

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

別表 (第6条、第7条関係)

[2] [3]

学習館使用料

区分		午前9時から正午まで	午後0時30分から午後5時まで
施設	実習室	1,000円	1,300円
	集会室	1,000円	1,300円

備考

- 1 使用者が本市住民以外の者である場合の使用料は、この表に規定する額の倍額とする。
- 2 冷房又は暖房を行う場合にあつては、この表に規定する額の2割に相当する額を加算する。

2. 西宮市立郷土資料館条例施行規則

(昭和60年3月25日)
(西宮市教育委員会規則第11号)

沿革

平成14年2月12日 西教委規則16号 [1]

平成27年2月4日 西教委規則13号 [2]

(趣旨)

第1条 この規則は、西宮市立郷土資料館条例(昭和59年西宮市条例第17号。以下「条例」という。)の施行について別に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(観覧料)

第2条 条例第5条に規定する観覧料については、教育長が定める。

(学習館の施設)

第3条 条例第6条第1項に定める名塩和紙学習館(以下「学習館」という。)の使用内容及び使用人数は、別表第1のとおりとする。
[2]

(特別利用)

第4条 資料の模写、模造、撮影等館内において特別利用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、条例第11条の規定により、特別利用許可申請書を西宮市教育委員会(以下「委員会」という。)に提出しなければならない。[1] [2]

- 2 委員会が特別利用を許可したときは、特別利用許可書を交付する。
- 3 特別利用は、所定の場所において館長の指示に従って行わなければならない。
- 4 委員会は、第2項の許可をする場合において、必要な条件を付することができる。

(館外貸出し)

第5条 資料の館外貸出しは、他の資料館、博物館、学校その他委員会が適当と認めるもののほか、受けることができない。[2]

- 2 資料の館外貸出しを受けようとするものは、条例第11条の規定により館外貸出許可申請書を委員会に提出しなければならない。[1] [2]
- 3 委員会が資料の館外貸出しを許可したときは、館外貸出許可書を交付する。
- 4 資料の館外貸出しの期間は、1月以内とする。ただし、委員会が認めたときは、この限りではない。[2]
- 5 委員会は、第3項の許可をする場合において、必要な条件を付することができる。

(学習館の使用許可申請) [1]

第6条 条例第6条第1項の規定により学習館の施設を使用しようとする者は、学習館使用許可申請書(以下「申請書」という。)を委員会に提出しなければならない。[1] [2]

(学習館の使用許可) [1]

第7条 委員会は、学習館の使用を許可したときは、学習館使用許可書(以下「許可書」という。)を交付する。[1] [2]

(学習館の許可書の提示) [1]

第8条 使用者は、学習館を使用するときは、許可書を館長に提示し、その指示を受けなければならない。[1] [2]

(実習費) [2]

第9条 条例第8条の実習費は、別表第2のとおりとする。[2]

(特別利用等の制限)

第10条 つぎの各号の一に該当するときは、特別利用および館外貸出しを許可しない。

- (1) 現に資料が展示されているとき。
- (2) 特別利用または館外貸出しにより資料の保存に影響があるとき。
- (3) 著作権者のある資料で、著作権者の同意を得ていないとき。
- (4) 寄託された資料で、寄託者の同意を得ていないとき。
- (5) その他委員会が、不適当と認めたとき。

[1] [2]

(特別利用の取消し等)

第 11 条 委員会は、特別利用または館外貸出しの許可を受けたものが、許可の条件に違反したときもしくはそのおそれがあるときまたは館の運営上必要があると認めるときは、特別利用または館外貸出しの許可を取消し、停止し、または資料の返還を命じることができる。[1] [2]

(資料の寄贈および寄託)

第 12 条 資料を寄贈または寄託しようとする者は、委員会に申出なければならない。[1] [2]

2 委員会は、館の運営上必要があると認めるときは、前項の申出を受けることができる。

3 受託期間は、1年以上とする。

4 受託資料は、特別の契約がある場合のほか、市所有のものと同様の取扱いをする。

(学習館使用料の減免申請) [1]

第 13 条 条例第 7 条第 1 項ただし書の規定により、学習館の使用料の減額又は免除を受けようとする者は、申請書にその旨を記載し、委員会の承認を受けなければならない。[1] [2]

(学習館冷暖房費の減免) [1] [2]

第 14 条 前条の規定により学習館の使用料の減額又は免除を受けた使用者については、条例別表備考 2 に規定する加算額を減額し、又は免除する。[1] [2]

(学習館実習費の減免)

第 15 条 第 13 条の規定により使用料の減額又は免除の承認を受けた使用者は、実習費を減額し、又は免除する。[2]

(休館日及び開館時間) [1]

第 16 条 資料館の休館日及び開館時間は、別表第 3 のとおりとする。[1] [2]

2 前項の規定にかかわらず、委員会が特に必要と認めるときは、休館日及び開館時間を変更することができる。[1] [2]

(委任)

第 17 条 この規則に定める申請書その他の書類の様式およびこの規則の施行について必要な事項は、教育長が定める。[1] [2]

付 則

この規則は、昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 14 年 2 月 12 日西教委規則第 16 号 [1])

この規則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 27 年 2 月 4 日西教委規則第 13 号 [2])

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1 (第 3 条関係)

[1] [2]

区分	使用内容	使用人数
実習室	和紙実習等	10 人以上 40 人以内
集会室	和紙の学習又は名塩紙の愛護啓発事業等	10 人以上 150 人以内

別表第 2 (第 9 条関係)

[2]

使用人数	実習費
10 人から 16 人まで	2,500 円
17 人から 24 人まで	5,000 円
25 人から 40 人まで	7,500 円

備考 使用者が本市住民以外の者である場合の実習費は、この表に規定する額の倍額とする。

別表第3（第16条関係）

[1] [2]

施設名	休館日	開館時間
資料館（学習館を除く。）	西宮市教育文化センター管理規則（昭和59年西宮市教育委員会規則第9号）に定めるところによる。	西宮市教育文化センター管理規則に定めるところによる。
学習館	1. 月曜日 2. 1月1日から1月4日まで及び12月29日から12月31日まで	午前9時から午後5時まで。 ただし、入館は午後4時まで

3. 西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館管理運営要綱

(趣旨)

第1条 本要綱は、西宮市立郷土資料館条例（昭和59年西宮市条例第17号。以下「条例」という。）及び西宮市立郷土資料館条例施行規則（昭和60年西宮市教育委員会規則第11号。以下「規則」という。）に基づき、西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館（以下「学習館」という。）を社会教育施設として広く市民の利用に供するために必要な事項を定める。

(施設等の定義)

第2条 施設とは、規則別表第1のほか、学習館に備付けの備品をいう。

(使用制限)

第3条 条例第6条第2項に該当するほか、次の各号に該当するときは使用を許可しない。

- (1) 社会教育法（昭和24年法律第207号）第23条にある行為に該当するとき。
- (2) 使用人数が規則別表第1と相違するとき。
- (3) 学校園の和紙実習にあつては、1回に行う実習の人数が41人以上のとき。
- (4) 飲酒・飲食を主たる目的とするとき。
- (5) 小学生以下の者だけの使用で、保護者等の同意書又は付添いのないとき。
- (6) 近隣に迷惑が及ぶおそれがあるとき。
- (7) その他、教育委員会が使用を不適当と認めるとき。

(使用受付の時期等)

第4条 規則第6条に基づく使用許可申請の受付は、使用しようとする日の1月前の同日までに行うものとする。

2 使用許可の決定は、紙すき実習指導及び和紙に関する学習等の施設使用の許可決定の後に、その他の施設使用の許可の決定を行う。

(使用許可内容の変更)

第5条 条例第6条にいう使用許可内容の変更が可能な期間は、使用許可書の交付があつた日から使用日の20日前までとする。

(冷暖房の期間)

第6条 冷暖房器の使用期間は原則として、暖房器は1月から6月まで及び10月から12月までとし、冷房器は7月から9月までとする。

(使用料・冷暖房費の納付)

第7条 条例第7条第1項の規定による使用料及び、条例別表備考の冷暖房費の納付は、市が指定する金融機関で、金融機関の営業日で使用日の10日前までに行うものとする。

2 使用者は、使用当日に納付を証する書類、又はその写しを和紙学習館窓口で提示する。

3 すでに納付した使用料及び弁償金は、返還しない。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）において特別の理由があると認めるときは、その一部又は全額を返還することができる。

(使用料及び冷暖房費の減額または免除の率)

第8条 規則第13条及び第14条により使用料及び冷暖房費の減免申請があつた場合には、以下の区分及び率により行う。

- (1) 市、委員会又は西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館紙すき推進委員会（以下「推進委員会」という。）が主催する行事に使用するとき 10割
- (2) 市内に在住、在学又は在園する生徒、児童又は幼児が半数以上を占める団体が土曜日を除く平日に使用するとき 10割
- (3) (2)に該当する団体が土曜日及び、平日以外に使用するとき 5割
- (4) 市内に在住、在学又は在園しない生徒、児童又は幼児が半数以上を占める団体が土曜日を除く平日に使用するとき 5割
- (5) (4)に該当する団体が土曜日及び、平日以外に使用するとき 3割
- (6) 身体障害者手帳、療育手帳又は戦傷病者手帳の交付を受けている者が半数以上を占める団体が使用するとき 10割
- (7) その他委員会が特別の理由があると認めるとき 委員会が相当と認める率

(実習指導と実習費の納付)

第9条 実習室の使用者は、和紙学習館職員等の指示のもと和紙実習を行う。

2 実習室の使用者は、規則第9条に定める額を使用料等と同じ方法で、同じ時期までに納付しなければならない。

(実習費の減額及び免除)

第10条 規則第15条による実習費の減免は、本要綱第8条の区分及び率により行う。

(使用料、冷暖房費及び実習費の還付)

第11条 本要綱第7条第3項による使用料、冷暖房費及び実習費の還付は、次の各号に掲げる区分及び比率による。

- (1) 使用者の責に帰することができない理由により使用できなくなったとき 10割
- (2) その他委員会において特別の理由があると認めるとき 委員会が相当と認める率

(使用料、冷暖房費及び実習費の還付申請)

第12条 使用料、冷暖房費及び実習費の還付を受けようとする者は、学習館過誤納還付申請書を委員会に提出しなければならない。

(使用許可申請書等の様式)

第13条 規則第6条、規則第7条及び本要綱第12条に規定する様式の記載事項は、別表のとおりとする。

(推進委員会への委託)

第14条 学習館の和紙実習及び和紙に関する学習を円滑に行うため、業務の一部を、推進委員会に委託する。

(推進委員会規約)

第15条 推進委員会は、次に掲げる項目について規約を定め、委員会に報告しなければならない。

- (1) 設置目的及び事業内容
- (2) 設置場所
- (3) 役員、職員に関すること
- (4) 実習指導員、実習準指導員及び助手に関すること
- (5) 推進委員会の会議運営に関すること
- (6) 会計及び監査に関すること
- (7) 規約の改正に関すること
- (8) その他細目に関すること

(和紙実習の指導等)

第16条 推進委員会は、和紙実習を円滑に行うため、実習指導員等及び助手を適切に配置するものとする。

2 前項により、推進委員会が実習指導等を行ったときは、委員会は推進委員会委員長の報告に基づき、指導員等および助手に対して報償費を翌月に支払う。

(委任)

第17条 本要綱の施行についての必要な事項は、教育長が定める。

付 則

本要綱は、平成27年4月1日に一部を改正し施行する。

別表

書類名	記載内容	条項
市立郷土資料館分館名塩和紙学習館使用許可申請書	受付番号 申請日 使用者名 使用者住所 連絡先電話番号 担当者名 使用内容 使用者内訳 使用希望施設 使用年月日 使用時間 使用人数 実習指導の有無 減免申請 学校にあっては使用内容と使用方法 減免の内容	規則第6条
市立郷土資料館分館名塩和紙学習館使用許可申請書(変更)	受付番号 申請日 使用者名 使用者住所 連絡先電話番号 担当者名 使用内容 変更申請の理由 使用者内訳 使用希望施設 使用年月日 使用時間 使用人数 実習指導の有無 減免申請 学校にあっては使用内容と使用方法 減免の内容	規則第6条
市立郷土資料館分館名塩和紙学習館使用許可書	許可年月日 使用許可者 許可内容 (使用者 使用施設 使用年月日 使用時間 使用人数) 使用料等の納付額と減免内容、減免理由及び減免額	規則第7条
市立郷土資料館分館名塩和紙学習館使用許可書(変更)	許可年月日 使用許可者 許可内容 (使用者 使用施設 変更の内容 許可の理由 使用年月日 使用時間 使用人数) 使用料等の納付額と減免内容、減免理由及び減免額	規則第7条

市立郷土資料館分館名塩和紙学習館 過誤納還付申請書	申請日 還付申請者の住所、氏名及び連絡先 還付請求者の住所及び氏名 還付申請額 使用取消日時 使用取消施設 使用許可日 許可番号 領収（収納）日 納付金の既納額及び明細 還付申請額及び明細 還付理由 還付率 【添付】使用許可者 納入通知書兼領収証書の写し 還付請求書（請求書 口座振替申込書 委任状）	要綱 12 条
------------------------------	---	---------

- 1 団体利用者にあつては、使用者名は団体代表者名 住所は団体事務所の所在地を記す。
- 2 規則とは「西宮市立郷土資料館条例施行規則」、要綱とは「西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館管理運営要綱」の略称とする。

4. 西宮市教育文化センター管理規則

(昭和60年3月25日)

(西宮市教育委員会規則第9号)

沿革

- 昭和63年7月25日 西教委規則5号 [1]
- 平成4年7月16日 西教委規則3号 [2]
- 平成11年5月11日 西教委規則3号 [3]
- 平成12年3月31日 西教委規則19号 [4]
- 平成13年4月10日 西教委規則2号 [5]
- 平成16年1月14日 西教委規則8号 [6]
- 平成18年3月8日 西教委規則12号 [7]
- 平成19年3月14日 西教委規則15号 [8]
- 平成21年3月11日 西教委規則13号 [9]

(趣旨)

第1条 この規則は、西宮市立図書館条例(昭和36年西宮市条例第3号)により設置された西宮市立中央図書館(以下「中央図書館」という。)及び西宮市立郷土資料館条例(昭和59年西宮市条例第17号)により設置された西宮市立郷土資料館(以下「資料館」という。)の管理に関して、別に定めるもののほか、必要な事項を定める。[5] [9]

(教育文化センター)

第2条 この規則においては、中央図書館及び資料館により構成される施設を総称して、西宮市教育文化センター(以下「センター」という。)という。[9]

(開館時間)

第3条 センターの開館時間は、次のとおりとする。

- (1) 中央図書館 西宮市立図書館条例施行規則(昭和59年西宮市教育委員会規則第10号)に定めるところによる。
- (2) 資料館 午前10時から午後5時まで。ただし、入館は午後4時30分まで

[1] [3] [7] [8] [9]

2 前項の規定にかかわらず、西宮市教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。[5] [8]

(休館日)

第4条 休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が特に必要があると認めるときは、臨時に休館し、又は変更することができる。

- (1) 中央図書館 西宮市立図書館条例施行規則に定めるところによる。
- (2) 資料館
 - ア 毎週月曜日
 - イ 1月1日から1月4日まで及び12月29日から12月31日まで

[1] [2] [5] [6] [8] [9]

(遵守事項)

第5条 センターに入館した者は、つぎの事項を遵守しなければならない。

- (1) 他人に危害をおよぼし、または迷惑となる行為をしないこと。
- (2) 資料、展示品等を損傷し、汚損し、または滅失しないこと。
- (3) センターの管理上支障となる行為をしないこと。

[4]

2 資料館に入館した者は、前項に掲げるもののほか、つぎの事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示品の近くでインク、墨等を使用しないこと。
- (2) 特に指定したものを除き、展示品に触れないこと。
- (3) 委員会の許可を受けずに資料及び展示品の模造、模写、撮影等を行わないこと。

[9]

(原状回復等)

第6条 センターの施設、設備または資料、展示品を損傷し、または滅失した者は、それを原状に復し、または委員会が相当と認める損害額を賠償しなければならない。[4]

(教育長への委任)

第7条 この規則の施行について必要な事項は、教育長が定める。[4]

付 則

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

付 則 (昭和63年7月25日西教委規則第5号 [1])

この規則は、昭和63年9月1日から施行する。

付 則 (平成4年7月16日西教委規則第3号 [2])

この規則は、平成4年8月1日から施行する。

付 則 (平成11年5月11日西教委規則第3号 [3])

この規則は、平成11年6月1日から施行する。

付 則 (平成12年3月31日西教委規則第19号 [4])

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

付 則 (平成13年4月10日西教委規則第2号 [5])

この規則は、平成13年4月20日から施行する。

付 則 (平成16年1月14日西教委規則第8号 [6])

この規則は、平成16年2月1日から施行する。

付 則 (平成18年3月8日西教委規則第12号 [7])

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

付 則 (平成19年3月14日西教委規則第15号 [8] 西宮市立図書館条例施行規則及び西宮市教育文化センター管理規則の一部を改正する規則2条による改正付則)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

付 則 (平成21年3月11日西教委規則第13号 [9])

(施行期日)

第1条 この規則は、平成21年4月1日から施行する。

(西宮市立市民ギャラリー管理運営規則の廃止)

第2条 西宮市立市民ギャラリー管理運営規則(昭和59年西宮市教育委員会規則第3号)は、廃止する。

西宮市立郷土資料館報 平成 28 年度 (2016)

編集・発行 西宮市立郷土資料館

兵庫県西宮市川添町 15 番 26 号

郵便番号 : 662-0944

電話 : 0798-33-1298

internet pages : <http://www.nishi.or.jp>

発行年月日 平成 29 年 (2017 年) 9 月 30 日